

# 魂のいとなみを支える

## 音楽療法と芸術のちから

### ～支援を必要とする子どもたち～

現代社会が抱える問題は数多くありますが、特に多くの人に見られるのは心の問題です。人間関係、親と子の問題、自分自身を肯定できない等々。音楽療法の現場では様々な問題を抱えた人が訪れます。病名がなくてもストレスによって病が引き起こされることも多くみられます。今回は3回に亘って心のいとなみを支える音楽療法における音楽体験や芸術体験を通して皆様とともに考えていきたいと思います。関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

(オーディオペーデ主宰 竹田喜代子)

新型コロナウイルス感染予防のため、予定しておりました内容を延期し、今回の開催としました。予防策をとったうえでの実施となりますのでご協力いただけますようお願いいたします。

2020年**12月6日(日)** 10:00～17:00

会場：ひらつか市民活動センター

### 第2回 「学童期のこどもの発達」

歯替わりを終えた学童期といわれる7歳から14歳までの子どもの発達について考えていきましょう。この時期の子どもたちは生命体を活発に働かせて、主に心を育てています。特に大人が注意をしなければならないのは9歳頃と前思春期といわれる12歳から14歳までの子どもについてです。今回はこの時期の子どもの発達と大人の役割についてお話ししたいと思います。

(竹田喜代子)

10:00～11:30 【講義】

講師：竹田喜代子 (アントロポゾフィー音楽療法士)

13:00～14:30 【学童期のオイリュトミー】

講師：石浦江利砂 (オイリュトミー療法士)

14:45～16:15 【音楽の体験】

講師：前平加代子 (アントロポゾフィー音楽療法士)

16:15～16:45 【振り返りと響きの体験】

参加費

各回 8,000 円

定員

25名 (10名に満たない場合は中止とします)

申込締切

11月14日(金)

(準備のため早めの申し込みをお願いいたします)

主催：一般社団法人オーディオペーデ「シュタイナー音楽療法研究会」・そらいろの会

後援：日本アントロポゾフィー医療の会